みんなの

ちいきふくし

社協だより
vol.60

12
2019

CHI-KI FUKUSHI SOJA CITY COUNCIL OF SOCIAL WELFARE

CONTENTS

ひきこもり支援…… 2
生活支援／ボランティア…… 3
地域ニュース from 地区社協 …… 4
生活困窮支援…… 6
権利擁護センター“しえん”…… 7
障がい支援…… 8
復興支援…… 9
表彰者紹介／赤い羽根共同募金…… 10
まごころのページ / プレミアム商品券…… 11
ハートフルそうじゃ…… 12

全国ひきこもり支援基礎自治体サミット in そうじゃ
全国ひきこもり支援フォーラムを開催しました！

当日は約700人にご参加いただきました。

次ページへ続く

社会福祉法人 総社市社会福祉協議会

「すべての住民が、自分の住み慣れた地域で、自分らしく、生き生きと、豊かに暮らせるふれあい、助け合い、支え合いのある住民主体の福祉コミュニティの実現」

全国ひきこもり支援基礎自治体サミットinそうじゃ
全国ひきこもり支援フォーラムを開催しました！

令和元年8月26日（月）に「全国ひきこもり支援基礎自治体サミットinそうじゃ 全国ひきこもり支援フォーラム」を開催しました。当日は全国各地から約700人に参加していただき、第1部全国首長サミット、第2部基調講演、第3部フォーラムの3部構成で実施。ひきこもり支援への理解を深めました。

第1部では、群馬県安中市の茂木英子市長、愛知県豊明市の小浮正典市長、滋賀県守山市の宮本和宏市長、山口県宇部市の久保田后子市長、片岡総社市長にご出席いただきました。各自治体での取り組みについて発表し、家族会・当事者の会・福祉関係者とともにひきこもり支援に果敢に取り組むことを宣言されました。

第2部では、中央大学法学部 宮本太郎教授に「包括的支援と多様な参加によるまちづくり 試金石としてのひきこもり支援」という演題でお話いただきました。ひきこもり支援の大きな課題は、旧来の日本型制度を見直し、やり直しのできる社会・休める社会・多様な人が働ける社会をつくり、働けていない人が働ける「元気人口」を増やすことと話されました。

第3部のフォーラムでは、座長に岡山大学法科大学院西田和弘教授、パネリストには全国のひきこもり支援に関わる当事者・家族・支援者の方々が結集し、それぞれの立場から、ひきこもり支援についてお話をしていただきました。そして、当事者・家族・支援者の3者が三位一体となり、ひきこもり支援に取り組むことが必要であると確認しました。

座長の西田教授は、「ひきこもりという状態は心の元気を失っている状態で、元気を失った状態に既存の社会保障給付はあまり役に立たない。根本的に解決していこうとするのであれば、どのようにしていけば良いのかを議論し、どこに住んでいてもひきこもりから脱却したいと思う人は、脱却できるような基盤を作ることが必要である。そういった基盤を形成しようというのが、今日のサミットであり、フォーラムであったのだと思う。」と締めくくりました。

ひきこもりサポーター「ほっとも」出店！

総社市が行っているひきこもりサポーター養成講座を受講され、登録をしていただいた、ひきこもりサポーター「ほっとも」を中心にサミット・フォーラムで初出店しました。

総社市内のパン屋さんにご協力をいただき、チョココロネとウィンナーコロネをベースに、オリジナルパン「こもりんパン」を作成。販売開始後、即完売しました。買いに来てくださった皆様ありがとうございました。

社会福祉法人 総社市社会福祉協議会

ひきこもり支援センター ワンタッチ

ご本人へ ご家族へ

あなたのことを忘れていません あなたと一緒に考えます

お気軽にご連絡ください

〒719-1131　総社市中央 1-1-3(総社市総合福祉センター内)
TEL：(0866)92-8597
E-mail：soudan@sojasyakyo.or.jp
相談時間：午前 8 時 30 分～午後 5 時 15 分（土・日・祝・年末年始を除く）

総社市生活支援にこにこサポート事業をご存知ですか？

総社市では、平成２９年４月から「にこにこサポート事業」を実施しています。本事業は、高齢者（要支援者等）が自宅で生活するうえで「ちょっとした困りごと」を専門の養成研修を修了した「にこにこサポーター」が支援する住民主体の支え合い活動です。

利用者は４２人、にこにこサポーターには１１４人の方が登録されています。（令和元年９月30日現在）

（事業のイメージ）

高齢者（要支援者等）

有償のボランティア
（活動は週に１回１時間程度）

にこにこサポーター

（１）掃除

（２）簡単な家事

（３）買い物

（４）外出の付き添い　など

平成30年度の活動件数 1,207件

2019 夏のボランティア体験事業のご報告

夏のボランティア体験事業では、
①中学生以上の学生、②市内在住在勤の方を対象に、実際に施設等でボランティア活動を体験することができます！

今年度は、２３２人の参加がありました！！

【体験の様子】

【事後研修】

120人にご参加いただき、
「これからできること」一緒に考えました！

【お詫び】
社協だより vol.59　９月号（5ページ）の「ボランティア養成講座」の「災害ボランティア講座」に関する日程に誤りがありました。
ご迷惑をおかけして、たいへん申し訳ございませんでした。
今後とも本事業へのご理解、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

常盤地区社協

『ず～っと残したい思い出』七夕

常盤地区社協では、幼稚園児との交流会活動に努めています。

七夕が近づくと、色とりどりの短冊が笹の葉と一緒にサラサラと風に揺られている様子が見られます。夏の到来を感じる7月5日（金）、年に一度の七夕に地域の皆と一緒にと声をかけていただき、『なかよし会』の21人が出席した活動を紹介します。

「七夕は織り姫と彦星が会うことのできる特別な日」であることや「七夕の夜に東の空を見上げると、星がたくさん集まり、川のようになっている（天の川）」ことを園児に伝えました。短冊に夢や願いを書いて、皆で七夕の歌を歌いました。

その後、教室で『なすび』と『きゅうり』を使って牛と馬を皆で作り、笹に願い事を書いた短冊を飾り付けました。

最後に楽しみなスイカを皆で食べ、笑顔いっぱいになりました。卒園した子どもからも「幼稚園で食べたスイカは美味しかった」という言葉を聞きました。

七夕は未来を担う子どもたちに『ず～っと残したい思い出』の行事なので続けていきたいと思います。

秦地区社協

令和元年6月12日（水）秦地区社協の合同研修会を開催しました。研修地は、国立療養所長島愛生園に決定しました。

私たちは常々、福祉活動を志す者として、一度は長島愛生園を訪問し、島の歴史やハンセン病への理解を深めたいと思っておりました。

民生委員・児童委員、福祉委員に声をかけ、研修の運びとなりました。当日は、天候にも恵まれ、22人という多数の参加者になりました。

研修は約2時間。愛生園の職員の説明を受け、施設なども見学しました。ハンセン病の知識や入所者の皆様が受けられた差別など、さまざまなお話を伺うことができました。

研修を通して、現在でもハンセン病以外に私たちを取り巻く差別や偏見があることに注目しなければなりません。この研修で得た体験を機会あるごとに地区の会議などで話していけたら良いと思っております。

久代地区社協

ふれあいサロン「サロン・ド・かさや」の紹介

このふれあいサロンには三つの特徴があります。

一つ目は、サロンの名称です。この地区には今も昔も屋号が生きており、高齢者の間では「かご屋の〇〇さん」という呼び方をすることがあります。このサロンに会場を提供してくれている家が、たまたま「かさ屋」だったので、この名称にしました。

二つ目は、「講」が母体となっていることです。この地区には、町内会や自治会などはなく、昔ながらの「講」がその代役を果たしています。私の所属する「講」は15軒で構成されおり、その家の高齢者がそのままサロンのメンバーです。規模的にも地理的にも大変まとまりやすく、運営しやすいです。毎月のお大師講で次回のサロンの内容や準備物をお知らせできます。

三つ目は、男性の参加が多いことです。夫婦での参加が多いので男性も多くなり、ありがたいことに毎回参加者の4割近くは男性です。参加者のほとんどが女性というサロンが多い中で、貴重な存在かもしれません。

これからも、高齢者が楽しく元気になれるようなサロンを続けていきたいと思います。

福祉学習

総社西小学校「ふくしって何？」導入

市内の学校、企業、市民等による福祉学習が積極的に行われています。福祉学習では、「ふくしって何？」をみんなで考えることから始まり、障がい者の暮らしについての講座、盲導犬ユーザー等の当事者の講話、車椅子・白杖などの体験学習などに取り組むことで、福祉は特別なことではなく、みんなにとって身近なものであることを学んでもらい、思いやり、ささえあいのあるまちづくりをめざしています！

山手小学校／盲導犬ユーザー

阿曽小学校／ふれあいサロンとの交流

常盤小学校／車いす体験

ふだんのくらしのしあわせ

令和元年度第１回

フードドライブを開催しました！！

ふくしネットそうじゃ・
おかやまコープ主催

令和元年 10 月 26 日（土）10:00 ～ 13:00 にフードドライブを開催しました。この事業は平成 28 年度から毎年開催しています。今年度より、ふくしネットそうじゃ（総社市社会福祉法人社会貢献活動推進協議会）・おかやまコープが主体となり、総社市生活困窮支援センターと合同で開催しました。

ふくしネットそうじゃとは？

総社市内に拠点のある社会福祉法人（１９法人）からなる団体。

社会福祉法人としての特性を活かし、「地域における公益的な取り組み」を実施。

今回のフードドライブでは
17 の法人・個人から
総重量 185.6 kg
ご寄付いただきました！

ご寄付いただいた食料品は、生活困窮者支援、地域のこども食堂などへ提供させていただきます。ありがとうございました！

第２回フードドライブを令和２年２月１日（土）に開催します。
ご協力よろしくお願いします！！

食べる物がない、仕事が続かないなど

生活の不安・心配ごと ご相談ください！

＜お問い合わせ＞ 総社市社会福祉協議会　生活困窮支援センター
TEL：（0866）92-8374　　E-mail：shien@sojasyakyo.or.jp
相談時間：8 時 30 分～ 17 時 15 分（土・日・祝、年末年始を除く）

権利擁護センター“しえん”からのお知らせです！

法律ミニ講座

今年度も法律ミニ講座を絶賛開催中です！皆様、お気軽にお越しください！

＜今後の開催予定＞

令和元年 12 月 26 日（木）「交通事故　～被害者や加害者になってしまったら～」
令和２年１月 23 日（木）「労働問題　～労働者の権利と保護～」
令和２年２月 27 日（木）「相続①　～もめないための遺言～」
令和２年３月 26 日（木）「相続②　～知っておきたい、遺産分割の基本～」

時間：14：00 ～ 15：30
場所：総社市総合福祉センター２階　技能習得室

ミニなんでも相談会

専門職（弁護士・司法書士・社会福祉士）に無料相談できる機会です！
定員になり次第、締め切りとなりますので、ご了承ください。

日時：令和２年２月４日（火）14：00 ～ 17：00（1 人最大 60 分）
場所：総社市総合福祉センター２階　教養研修室・技能習得室　定員：10 人程度

＜お申し込み・お問い合わせ＞
総社市権利擁護センター“しえん”　〒719-1131　総社市中央１－１－３
ＴＥＬ：（０８６６）９２－８３７４　ＦＡＸ：（０８６６）９２－８２８４

連載　第23回

「高齢者の消費者トラブル」

総社市権利擁護センター“しえん”
弁護士　小田　弘昭

近年、高齢者の消費者被害が増加しています。これは高齢化社会への変化による影響もありますが、悪質業者が高齢者を狙っており、高齢者がターゲットにされていることにその大きな要因があるともいえます。

高齢者が狙われる理由としては、在宅率が高く、老後の蓄えなどお金を持っていることが多いこと、また、加齢により認知能力、判断能力が低下していたり、一人暮らしの増加などで孤立している高齢者が増えていることなどが挙げられます。

私はだまされたことがないという方でも、調べてみると実は相場よりも高い値段で商品やサービスを購入させられていたりするなど、自分で気がつかないうちに被害にあっているケースもあります。このように、巧みな手口で被害者にだまされたと思わせないことも悪質業者による消費者被害の特徴です。

また、複数の者がそれぞれ役回りを分担して演じ、消費者を信用させだます劇場型勧誘といった手口や、仮想通貨などに関する詐欺など、時代に合わせて、新しい手口が生まれ、取り扱う商品も変化しているため注意が必要です。

もし高額な商品やサービスを無理に勧められたり、契約内容に不審点があるなどして不安を覚えたときは、その場で契約することはせずにはっきりと断り、後でいったん落ち着いてから家族や知人など身近な方に相談したり、消費生活センターの消費生活相談窓口などに電話したりするようにしてください。

万が一、悪質業者と契約してしまっても、法的には、クーリング・オフや取消、無効の主張などができる場合もありますので、消費生活センターや弁護士など専門家に相談してみてください。

自閉症支援トレーニングセミナー in総社を開催しました!!

令和元年9月22日（日）と23日（月）に自閉症支援トレーニングセミナーin総社【実践セミナー】を開催しました。6月30日（日）に開催した【基礎セミナー】受講者から12人にご参加いただきました。

今回のセミナーでは、協力機関である総社はばたき園を会場に、実際に自閉症の方にモデルとして協力いただき、実践で活かせる具体的な支援方法について学びました。講師に【基礎セミナー】に引き続いて中山清司先生（自閉症eサービス）と諏訪利明先生（川崎医療福祉大学）をお招きして、幼児期と学齢期の2つのグループにわかれてワークをしました。

構造化・自立課題・コミュニケーションなど、少人数で2日間集中的に、適切な評価と特性の理解に基づいた自閉症支援について、学びを深めることができました。

一人ひとりに応じた課題を作成しています！！

障がいがあっても安心して働き続ける地域をめざす

障がい者就労支援セミナー2019 in そうじゃ

日　時　2019年11月30日（土）13：30～15：30
（12：30受付開始）

会　場　総社市総合福祉センター3階　大会議室
（総社市中央1丁目1-3）

講　演　「SPiSを用いた精神障がい者等への就労定着支援（仮）」

講　師　SPiS研究所　理事長　宇田　亮一 氏

参加費 無料
福祉事業所による販売もあります

【お問い合わせ】
総社市社会福祉協議会　総社市障がい者千五百人雇用センター
TEL：（0866）92-8379　FAX：（0866）92-8284

主催：総社市、総社市社会福祉協議会　総社市障がい者千五百人雇用センター
後援：倉敷中央公共職業安定所　総社出張所、総社商工会議所

被災者見守り・相談支援事業
総社市復興支援センター

相談 水 っと カフェ

◆日時◆
毎週水曜日　１４時～１６時
◆場所◆
昭和公民館

温かいものを飲みながら、お話をして過ごしています。生活再建の手続きや、暮らしや健康等に関する相談もお受けしています。

カフェに参加された方と一緒に「味噌玉づくり」や「笑いヨガ」など、みんなで一緒に楽しく笑って元気に過ごしています。

【相談 水っとカフェ×出張型 なんでも相談会】

～弁護士・司法書士・社会福祉士による無料相談会～
◆日時◆
令和元年１２月１８日（水）　１４時～１６時
◆場所◆
昭和公民館

●被災した家・土地のこと　●生活再建支援制度のこと
●再建に向けた暮らしのこと
●日常生活における困りごと　など

電話またはメールで事前にご予約ください。
予約時に、相談内容をお伺いします。面談方式でお一人最大６０分。秘密は固く守られます。
※ 予約優先

＜お申し込み・お問い合わせ＞
総社市権利擁護センター“しえん”
TEL：（０８６６）９２－８３７４
E-mail：shien@sojasyakyo.or.jp

ゼロの付く日は…
カフェへ!!

◆日時◆
毎月０（ゼロ）の付く日のいずれか１回
◆場所◆
西仮設住宅　集会所
みんなで一緒にお昼ご飯を作っていただきましょう(^^)/

～宮城からの贈り物～

宮城県亘野町にある手作りメンバーさんから、
心温まるお手紙と手作り箒をいただきました。
「頑張る元気をいただきました」
「災害に負けず前向きに元気で頑張りましょう」

○（まる）カフェでは、「おはぎづくり」や「ぎょうざづくり」をしながら、みんなで和気あいあいと過ごしています(^^♪

ボランティアセンター（復興支援ボランティア）

市内では、被災した家屋の片づけ等の復興ボランティアの方の活動が続いています。

また、令和元年台風１９号災害において、総社市で行われた支援物資の集積作業にボランティアの方がご活躍いただきました。

≪お詫びと訂正≫　社協だより vol.59　９月号　裏表紙「昭和 愛・絆 復興祭」の記事に誤りがありました。
（誤）参加（延べ 160 名）⇒（正）参加（延べ 1,600 名）
「昭和 愛・絆 復興祭」は、２日間を通して盛大に行われました。訂正してお詫び申し上げます。

令和元年度の被表彰者（福祉部門）

多年にわたり功労のあった方々が表彰されました。
心からお祝い申し上げます。

◎岡山県知事表彰
川田　幸治
髙谷　智子
総社つゆ草の会

◎岡山県共同募金会長表彰
藤田　勲
平松　昭
川田　一馬

◎岡山県保健福祉部長表彰
赤木　伸子
浅沼　弘
大正琴・夕月の会
三輪ボランティア
三須地区社会福祉協議会

◎岡山県老人クラブ連合会
荒木千代信
武田　十郎
河原　精一
茅原　次夫

（敬称略）

◎岡山県社会福祉協議会長表彰
土家美佐枝
角田ヒロミ
友野　貴子
佐藤とも子
あかいやね
総社点訳の会
さくらんぼ

令和元年度　岡山県総合社会福祉大会
令和元年10月10日（木）岡山市民会館

赤い羽根共同募金運動 ～街頭募金～

令和元年10月1日（火）、赤い羽根共同募金運動のスタートにあたり、市内のＪＲ駅、量販店で、福祉関係団体等のご協力のもと、街頭募金活動を実施しました。

また、市内の各戸への戸別募金をはじめ、学校募金や企業・商店での協力店募金等、募金活動を地区役員の皆さまのご協力をいただき、進めております。
ご協力をお願いいたします。

運動期間：令和元年１０月１日（火）～ １２月３１日（火）

あなたの心 活かします

皆さまのお気持ち ありがとうございます。

下記については、金額の多寡にかかわらずご希望により寄付金額は掲載しておりません。

寄付者		住所	寄付者		住所	寄付者		住所
▽香典返し								
浅沼　洋公	亡母（孝子）	下原	坪井　敏明	亡母（美千江）	中央３丁目	丸山　仁志	亡妻（宏子）	中央６丁目
藤井美津子	亡夫（慶祐）	中央２丁目	小田上将也	亡父（裕司）	赤浜	中村　達也	亡母（勇子）	下倉
山本　孝允	亡弟(安原昌明)	黒尾	本行　伸一	亡妻（澄江）	見延	渡辺　吉之	亡母（智恵子）	山田
白羽　勝美	亡妻（芳子）	井尻野	信久　　交	亡母（美鈴）	小寺	白神　義久	亡母（シカヱ）	久代
浅沼　節夫	亡父（美雄）	下原	渡辺　光子	亡夫（茂）	三輪	田中　　彰	亡父（勝）	新本
小池　武志	亡母（八重子）	三須	津神　義忠	亡妻（頼子）	上林			
川上　力生	亡父（公則）	清音上中島	小野　益嗣	亡父（正美）	岡谷			
田本　利恵	亡夫（光文）	井手	國府　良一	亡母（一枝）	金井戸			
小倉　久明	亡母（珺劾）	福井	阿部　仁美	亡母（伸子）	駅南２丁目			
小池　眞一	亡母（慶子）	八代	長江　忠志	亡妻（美代子）	三須			
犬飼　眞人	亡父（克己）	赤浜	難波　　徹	亡父（利通）	黒尾			
難波　治彦	亡父（行彦）	岡山市北区丸の内	佐藤　重明	亡妻（定子）	山田			
平田　邦裕	亡父（雅久）	槙谷	河田憲一郎	亡母（和子）	三輪			
中桐　君江	亡夫（武敏）	久代	内藤　聖司	亡父（嘉一郎）	駅南２丁目			
髙谷　満博	亡父（勇美）	岡谷	岩本　恭平	亡義父(丸山軍治)	山田			
佐野　年昭	亡父（茂）	清音軽部	松永　憲明	亡父（明）	新本			

（令和元年７月21日から令和元年10月20日まで　敬称略）

在宅福祉課からのお知らせ

～プレミアム商品券が利用できます～

令和元年10月１日の消費税・地方消費税率引き上げに伴う景気対策として対象者プレミアム付商品券が発行されています。総社市社会福祉協議会では、**令和元年10月１日～令和２年３月31日**まで、ホームヘルパーの利用料金をプレミアム商品券で支払うことができます。

（注意）お釣りが出ません。

みなさん、私たちと一緒に働いてみませんか！

登録ヘルパー募集中！

資格は持っているけれど働いた事がない、フルタイムは難しいけれど短時間なら働ける、以前介護の仕事をしていたがブランクがある方も大歓迎です。

＜お問い合わせ＞
総社市社会福祉協議会　在宅福祉課（担当：小林）
TEL：(0866)92-8560

みんなのちいきふくし
社協だより vol.60
12 2019
Chi-ki Fukushi Soja City Council of Social welfare

赤い羽根共同募金は
じぶんの町を良くする取り組みに活用されています！

ハートフルそうじゃ

ありがとうを伝えよう
10th Anniversary

日時：12/7(土)13：00～16：00
場所：総社市総合福祉センター
(総社市中央 1-1-3)

入場無料

メインステージ
ハートフルペインティング

出演アーティスト：ダイオードデザイン株式会社
渡辺俊夫さん・尚樹 -naoki- さん

今年のメインステージは参加型ライブペインティング！
プロのアーティストと一緒に１つの作品を作ろう♪
筆、ローラー、スタンプなど、色々な道具を準備して
お待ちしています♪
※小学生未満のお子様は、保護者の方とご参加ください。

～体　験～
寄せ植えワークショップ
缶バッジ作り
キャンディーネックレス作り
要約筆記・手話・点訳体験

～遊　ぶ～
プレイゾーン（おもちゃあそび）

～食べる～
コラボごはん・喫茶・軽食

～買　う～
福祉事業所販売コーナー

子どもも大人も楽しもう♪

お問い合わせ
ハートフルそうじゃ 実行委員会（総社市社会福祉協議会内　電話：(0866)92-8578）
主催：総社市地域自立支援協議会　共催：総社市、総社市社会福祉協議会　後援：岡山県備中県民局

赤い羽根共同募金ポスター作品コンクールを開催しました！

赤い羽根共同募金の目的や意義についてポスター作成を通じ、子どもたちの理解を促進することを目的に、令和元年度赤い羽根共同募金ポスター作品コンクールを実施いたしました。今年度は、３６作品の応募があり、その中から最優秀賞作品１点、優秀賞作品１０点が選ばれました。最優秀賞作品は、令和２年度のポスターやチラシに掲載し、共同募金の啓発に活用します。

最優秀賞
総社中央小学校６年　岡本蒼依さん

編集発行／社会福祉法人 総社市社会福祉協議会
〒七一九-一一三一 岡山県総社市中央一-一-三 総社市総合福祉センター内
TEL：〇八六六-九二-八五五五 メール：info@sojasyakyo.or.jp
FAX：〇八六六-九四-〇〇八九 ウェブ：http://www.sojasyakyo.or.jp

「みんなのちいきふくし」は、赤い羽根共同募金配分金の一部を利用して発行しています。　VEGETABLE OIL INK この広報誌は再生紙を使用しています。